

『伊能忠敬研究』 第39号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日	
39号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇〇五年 第三九号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	39--1	20050225	
		2	表紙図解説 米国議会図書館蔵 伊能大図102号の部分「伊豆下田」付近	鈴木 純子	39-0		
		3	目次		39-0		
			4	一步を踏み出す勇気から 懇親会での挨拶から	前代表理事・現 名誉代表 渡辺 一郎		39-1
			5	伊能忠敬研究会の今後の発展を期して 昨年まで約31年間国土地理院に在籍しておりました	新代表理事 星 埜由尚		39-2
			6	未発見史料はまだある	(毎日新聞)		39-3
			7	特報 10周年記念大会			39-5
	特報			十年の歳月に多くの支援の輪	新沢 義博		39-5
				忠敬先生のタイムトラベル	前田 幸子		39-7
				夢と希望の忠敬さん	成家 淑子		39-9
				幟旗 (のぼりばた) の大歓迎	山本 公之		39-11
新春エッセ ー		8	ハルビン生活四年目の記	岩城 元	39-12		
			授業の相手は大学院生だけに 風呂以外はすべて完備の宿舎 ラクチンな四年目		39-13		
			ハルビンっ子の飲み方 「クコ」酒に魅せられて 中国の「酒文化」に貢献		39-14		
			編集部注 【イワキ ハジム むかし新聞記者……】 200 8年は北京オリンピックですね	編集部	39-16		
		9	三六日で世界一周ー世界を歩こう 第三話	渡辺 一郎	39-18		
		◎旌門金鏡 類録		10	伊能古文書教室 佐原伊能家史料を読む 『旌門金鏡類録』 (六)	小島 一仁	39-23
					箱訴願人呼び出し 箱訴一件落着		39-24
◎伊能家文 書紹介		11	続・伊能忠敬未公開書簡より その一 伊能忠敬宛 渋江新之 助書簡	伊藤 栄子	39-28		
			渋江新之助の役職 小普請組組頭		39-30		
			小普請 (こぶしん) 組とは、一体どういう組織なので あろうか				
			小普請組は、御家人で無役の者、つまり御城勤めをし ない者が属していた				
			忠敬は測量に携わる時以外は無役となり、その間は小 普請組組頭の支配を受ける				
			参考文献				
			江戸役人、職人大辞典 人物往来社				
			新潮人名辞典 新潮社				
			江戸の旗本たち 河原芳嗣著 アグネ技術センター				
			12	伊能家文書紹介 四 麻田立達宛 足立左内書簡 文化一一年 一月 (伊能忠敬自筆カ写)	安藤 由紀子	39-32	
		足立左内・麻田立達 (りゅうたつ) ・伊能忠敬		39-35			
		この人々の関係をまとめると、「麻田流天文学の祖」 麻田剛立を基点として、直系の弟子が高橋至時と間重富、弟弟 子が足立左内、孫弟子が伊能忠敬、養継嗣 (剛立の甥) が麻田 立達となる。伊能忠敬は、寛政七年に至時に入門したが、同一 一年に没した師の師には会っていない		39-36			
		ワシリー・ミハイロヴィッチ・ゴロウニン					
		足立左内〔当時四五歳〕より七歳、伊能忠敬より三一 歳年少である					

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
39号	◎伊能家文書紹介	12	ゴロウニンが帰国後あらわした体験記は、帰国二年後の一八一六（文化一三）年出版されるや大好評をはくし、出版後ヨーロッパの各国語に翻訳されて、版を重ねた。日本では、長崎で入手されたオランダ語訳から、初版後わずか五年目に翻訳が開始され、一八二五（文政八）年「遭厄日本紀事」と題して出版された 〔書簡の〕登場人物のスケッチ WMゴロウニン著『日本俘虜実記』（徳力真太郎訳）講談社	安藤 由紀子	39-36	20050225
					39-37	
トピックス		13	ペイレ図が日本で永久保存に 京都市の日本写真印刷が購入 「完全」伊能中図、仏から 修復が縁、京都の印刷会社購入	福田 弘行 (朝日新聞)	39-27	
		14	尺時計〔しゃくとけい〕を展示		伊能忠敬記念館	39-31
●干支に因んだ地名		15	2005（平成17）年 酉（鶏・鳥）年に因む地名小図 忠敬生誕260年を祝う	齋藤 仁	39-60	
トピックス		16	「アメリカ大図里帰りフロア展」全国公開終了 再度大図展が開催されるか		39-38	
		17	女性が守ってきた「忠敬先生」の遺書・遺品 伊能忠敬研究会 顧問 伊能陽子さん	(フジサンケイ ビジネスアイ)	39-38	
		18	全国の入場者 二十五万七千人に 一日平均1274人		39-38	
九州支部だより		19	「伊能大図九州フロア展」を終えて (いしかわ せいいち 九州支部長、伊能大図フロア展九州地方実行委員長)	石川 清一	39-39	
					39-41	
新潟支部だより		20	伊能大図「フロア展新潟」報告 (かきみ そういち・新潟支部事務局長)	垣見 壮一	39-42	
					39-45	
■伊能忠誨日記		21	伊能忠誨(いのうただのり)日記(八)最終回〔1823.06.18～1826.08.29(文政06.05.10～文政09.07.26)〕 文政九丙戌年六月六日〔1826.07.10〕七半時過、女子出生の由(長女テイ) 忠誨二歳、クニ一八歳の時の子 文政九丙戌年七月二五日〔1826.08.28〕おテイ大病 文政九丙戌年七月二六日〔1826.08.29〕おテイ死去 忠誨の日記は、この後九月六日迄記述してあるが、心なしか文字も乱れ、忠誨の胸の中が推察される 忠誨は、愛娘「貞」の後を追うように翌年(文政十年)二月二一日〔1827.03.18〕、二二歳で死去 注釈〔人物〕 注1 曾祖母(民〔たみ〕)の五十年忌 佐久間さんの労作「伊能忠誨日記」が終了いたしました	佐久間 達夫	39-46	
					39-51	
					39-52	
		22	伊能忠誨日記番外資料 伊能忠誨(忠敬の孫)宅への来訪者・訪問先 ※注釈 伊能忠誨遺書 二十種二十九点 一、伊能家と親族 ※伊能家と親族が不明(未調査) 者し可井〔橋替〕のばば 伊能家で慶弔事等があると、必ずきて一泊して帰った 二、佐原村の人 三、佐原村近隣の人 四、江戸の人 五、上司・朋友など あとがき 伊能忠誨の墓石 佐原市牧野 観福寺 伊能貞と伊能リテの墓石 観福寺	編集部 佐久間 達夫	39-53	
					39-54	
					39-57	
					39-58	
					39-59	
別海通信		23	別海通信 師弟の絆によって織りなされるドラマに学ぶ (まつうら けんいち・別海町郷土研究会事業研究部会長、北海道別海高等学校教諭)	松浦 賢一	39-61	
					39-62	
		24	記念柱揮毫の依頼を受けて	大関 美枝子(香勝)	39-62	
		25	遺稿 続 忠敬さんはニシベツ川を渡ったのか(釧路新聞) 到達から204年 思い引き継ぎ記念碑実現 (故よしかわ しんいち・別海町伊能忠敬記念碑建設規成会顧問)	吉川 新一	39-62	
会員便り		26	話題交歓		39-64	

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
39号	会員便り	27	訂正 第38号72頁 新入会員紹介 巻瀨さんのお名前晃さんは、彰さんが正しいお名前です	編集部	39-67	20050225
		28	函館駅に忠敬さんの壁画	加藤 巷児	39-67	
	総会報告	29	総会報告		39-68	
	訂正	30	訂正 第38号17頁 特集2 ドキュメント伊能忠敬研究会10年の歩み 伊能大図214枚史上初の全図公開まで	編集部	39-68	
	話題から	31	話題から		39-70	
	新刊紹介	32	ノノさんのぶらぶら地図学 地図センターの野々村邦夫著 実業之日本社		39-70	
		33	帝都地形図 井口悦男編 芳賀さんの会社「之潮（コレジオ）」制作		39-70	
		34	月刊「地理」11月号 古今書院		39-70	
	忠敬談話室 だより	35	推歩先生と銀座の忠敬先生	山本 公之	39-71	
	日々の話題	36	日々の話題から		39-71	
	お知らせ	37	お知らせ		39-72	
			忠敬生誕二百六十年祭 予定			
	奥付	38	研究会案内・投稿規定・HP・編集後記（F）	（F）	39-73	
			私のパソコンが突然動かなくなり、すべてのデータが消失。このため本号の入力はやり直しに。難儀やな。半月以上発行が遅れました			
39		2005年2月25日発行 発行 星埜 由尚 伊能忠敬研究会	編集 福田 弘行 発行 星埜 由尚	39-73		
40	裏表紙（英文目次）			39-74		